

令和元年

9.13 金 11.4 月 祝

松江歴史館 企画展示室

【休館日】……9月19日(木)、10月17日(木)

【開館時間】……(9月) 8時30分-18時30分 (10・11月) 8時30分-17時00分

(観覧受付は閉館30分前まで)

観
覧
料

大人500円(400円) 小・中学生250円(200円)

※基本展示室とのセット券: 大人800円(640円)、小・中学生400円(320円)

※()内は20名以上の団体料金

※松江市内の高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で企画展示

(または基本展示とのセット券)が団体料金となります。

【主催】松江歴史館

【後援】島根県、島根県教育委員会、山陰中央新報社、朝日新聞松江総局、産経新聞松江支局、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK 松江放送局、TSK 山陰中央テレビ、BSS 山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、エフエム山陰

【建築家】
山口半六

近代日本の基礎となつた人々

【日本銀行理事】
山口宗義



松江市立
松江歴史館

特別展

将 海 山口多聞を生んだ 藩士 山口家

【物理学者】
山口銳之助

島根県松江市殿町279番地
TEL: 0852-32-1607
FAX: 0852-32-1611
<http://www.matsu-reki.jp/>

Facebook twitter で最新情報を配信中！

松

江藩士山口家、現在の松江ではこの家の人を知っている方は少ないかもしれません。しかし、この山口家は明治以降に東京を中心に活躍し、様々な分野で日本近代化の礎となつた人々を輩出しているのです。本展では松江藩士山口家と、山口宗義、半六、銳之助の三兄弟、宗義の子の多聞に関わる資料を集めて展示し、その業績を紹介します。

松江藩士 山口家

松江藩士山口家は加賀国大聖寺城主の山口宗永を祖とする。宗永は関ヶ原の戦で西軍に味方して戦死した。かろうじて生き延びた子が松江藩主となる松平直政に仕えた。山口家は江戸時代を通じ、中老・番頭を勤める上級藩士（上士）であった。



日本銀行理事
山口 宗義
Muneyoshi
(1851~1934)



明治を代表する建築家
山口 半六
Hanroku
(1858~1900)



日本最古のX線写真を残した物理学者
山口 銳之助
Einosuke
(1862~1945)



山本五十六の後継者と呼ばれた海将
山口 多聞
Tamon
(1892~1942)

松江藩士山口軍兵衛の長男として松江の母衣町で出生。開成学校（東京大学の前身）を卒業後、大蔵省に出仕する。台湾総督府の財務部長を勤めた後に日本銀行理事となり14年間勤めた。宗義は蔵書7,000冊を島根県に寄付し、現在も県立図書館で山口文庫として活用されている。

宗義の次弟として松江の母衣町で出生。官費留学生としてフランスで建築学を修める。帰国後は文部省に入り、第一高等中学校などの高等教育施設の建築監督・設計に携わる。病を得て文部省退職後は、様々な建築設計に関わった。特に都市設計の第一人者として、大阪市街地の設計などを行った。

宗義の末弟として松江の母衣町で出生。東京大学を卒業し、第一高等中学校や京都帝国大学の教授となり物理学を教える。その後学習院の院長を経て、宮内省図書頭と諸陵頭を兼務する。学生時代の岸清一の身元保証人となるなど明治期における在京松江人の中心人物であった。

宗義の三男として東京で出生。山本五十六に見込まれて第一連合航空隊司令官となり航空部隊の指揮を執る。真珠湾攻撃では第二航空戦隊司令官として空母「蒼龍」・「飛龍」を率い参戦。ミッドウェー海戦では最後まで戦い続け、大破した「飛龍」とともに太平洋に沈んだ。

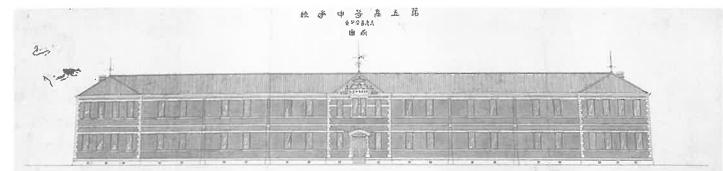


14歳の松平直政が戲れで書き、山口勘弥に与えた知行判物
(島根県立古代出雲歴史博物館蔵)

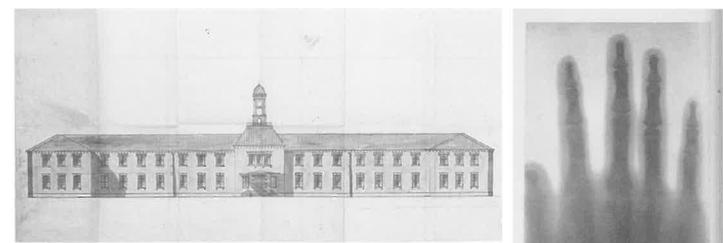
松江藩士山口家所用の甲冑
(島根県立古代出雲歴史博物館蔵)



山口文庫贈に関する宗義の書状（島根県公文書センター蔵）



半六が監督・設計した第五高等中学校の本館立面図（重要文化財・熊本大学五高記念館蔵）



半六が監督・設計した第一高等中学校の本館立面図（東京大学駒場博物館蔵）



山口銳之助が撮影した日本に残る最古のレントゲン写真
(「れんとげん投影写真帖」より東京大学駒場博物館蔵)



多聞が形見として遺した略軍帽
(海上自衛隊第一術科学校教育参考館蔵)



空母「飛龍」での多聞との決別を描いた「提督の最後」
(海上自衛隊第一術科学校教育参考館蔵)

記念講演会

「明治を代表する建築家山口半六について」

【日 時】10月27日(日) 14:00~15:00

【講 師】藤森 照信 氏（東京都江戸東京博物館館長）

【会 場】松江歴史館 歴史の指南所

【定 員】90名(先着順)

【要申込】(年間パスポートまたは展示期間中の特別展観覧券が必要)

松江おもしろ談義

「海将 山口多聞の軌跡」

【日 時】10月13日(日) 14:00~15:00

【講 師】新庄 正典（当館学芸員）

【会 場】松江歴史館 歴史の指南所

【定 員】60名(先着順)

【要申込】

松江のモダニズム建築めぐり 松江市内にあるモダニズム建築物を歩いて巡るツアーです。

【日 時】10月12日(土) 10:00~12:00 [集合場所] 松江歴史館 星闘ホール

【案 内】足立 正智 氏（島根県建築士会会長） 【定 員】20名(先着順)

【要申込】(年間パスポートまたは展示期間中の特別展観覧券が必要)

ギャラリートーク

学芸員による展示解説です。

9月13日(金) ※オープニングセレモニー(9時)終了後、9月15日(日)、10月5日(土)、11月4日(月・祝)

【日 時】14:00~15:00 (9月13日以外) [会 場] 企画展示室

(年間パスポートまたは当日の特別展観覧券が必要)

関連イベント



島根県松江市殿町279番地
TEL: 0852-32-1607
FAX: 0852-32-1611
<http://www.matsu-reki.jp>

